

もの言う牧師のエッセー 第122話

ソチ五輪

①「スノーボーダーズ」

それまでのいやなムードを吹き飛ばし、今大会で日本に最初のメダルをもたらしたのは、半円筒形のコースを滑りながら「エア」と呼ばれる空中での演技を行い、高さや技の難度を競い合う、スノーボード男子ハーフパイプで日本スノーボード界初のメダリストになった銀メダルの中学3年生、平野歩夢選手と、銅メダルの高校3年生、平岡卓選手ら少年たちであった。特に平野選手は15歳74日での受賞となり、雪上競技での冬季五輪史上最年少メダリストにもなった。両者共に小学生頃よりプロとして世界中の強豪と渡り合ってきたというからスゴイ。

日本中が興奮冷めやらぬ中、約1週間後にはスノーボード女子パラレル大回転が行われ、竹内智香選手が見事銀メダルを獲得。やはり同種目で日本人女性初のメダリストとなると同時に、アルペン種目では1956年・コルティナダンペッツォオリンピックのスキー回転で銀メダルを獲得した猪谷千春以来、58年ぶりの快挙となった。

一躍、時の人となり、偉大な記録を歴史に刻んだ彼らだが、銅メダルの平岡選手のコメントが振るっている。「スノーボードは自由なスポーツなので、これからも自由にやっていきたい」。なるほど、聖書に

「完全な律法、すなわち自由の律法を一心に見つめて離れない人は、すぐに忘れる聞き手にはならないで、事を実行する人になります。こういう人は、その行いによって祝福されます。」ヤコブの手紙1章25節、

と記されているのを思い出した。クリスチャンになったら教会からあれこれ指図されてがんじがらめになると考えている人は多い。しかし実際はその逆である。キリストを心に迎える時、神は聖霊を送って下さり、我々を身動き出来なくしている様々な悩みや状況、見栄などの束縛から解放され、肩肘張らずにのびのびと良い業を行うことが出来るのだ。キリストの自由を得て、勝利をつかもう。

2014-2-24

